

当資料の転載、複製、改変等は禁止いたします。



高血圧の中医弁証論治

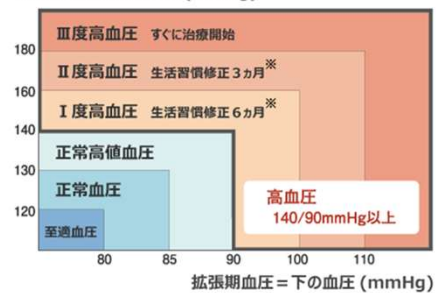
高橋楊子

上海中医薬大学附属日本校

高血圧とは

- 血圧の基準値は年齢や合併症などにより異なるが、一般的に病院での測定が140/90mmHg以上、家庭での測定が135/85mmHg以上であれば高血圧となる
- 二次性高血圧を除き、本態性高血圧の発症には生活習慣が深く関わり、塩分の摂り過ぎや肥満、運動不足、ストレス、疲労、また加齢や遺伝的な要因とも関係する。

収縮期血圧 = 上の血圧 (mmHg)



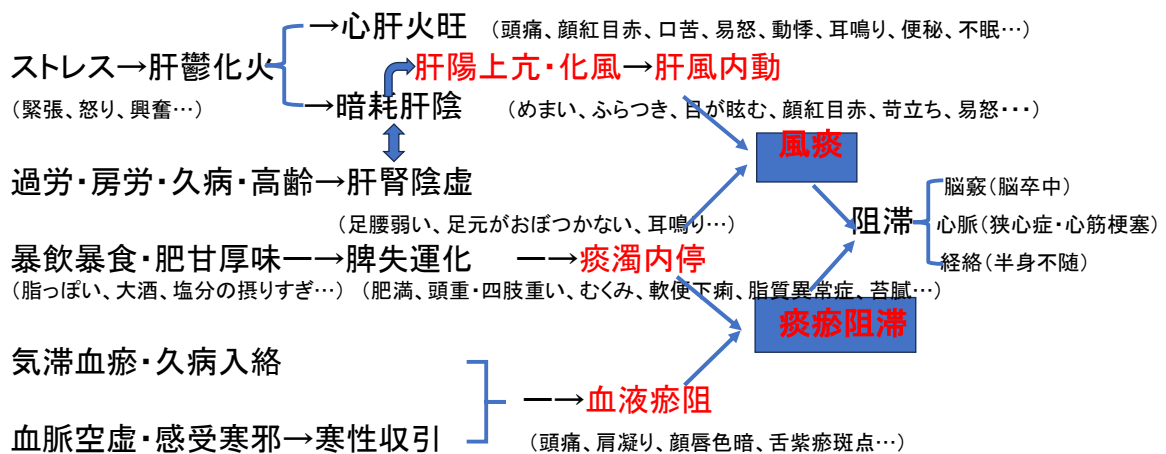
高血圧のよくある症状

- 高血圧の多くの患者はあまり症状がないが、血圧が高くなると、めまい、頭痛、頭重、首・肩の凝り、かすみ目、耳鳴り、鼻血などがあらわれる。



☞ 高血圧は、中医学では眩暈・頭痛・中風・胸痺などの範疇で論じている。

一. 病因病機



諸風掉眩、皆屬於肝 『至真要大論』

無痰不作眩 (朱丹溪)

無虛不作眩 (張景岳)

二. 弁証論治

1. 肝腎陰虚・肝陽上亢

症状 血圧が高いか不安定、めまい、ふらつき、頭(脹)痛、顔紅、目赤、口苦、苛立ち、怒りっぽい、耳鳴り、視力減退、便秘気味、足腰が弱い、足元がおぼつかない、紅舌黄苔か少苔、弦数脈、尺弱

治則 滋陰潜陽・平肝熄風

処方 天麻釣藤飲・釣藤散・杞菊地黄丸・七物降下湯など

肝鬱化火・心肝火旺 + 竜胆瀉肝湯・黄連解毒湯・加味逍遙散など

天麻釣藤飲

組成 天麻・釣藤鈎・石決明・山梔子・黄芩・牛膝・杜仲・益母草・桑寄生・夜交藤・茯神

効能 平肝熄風・清熱安神・補益肝腎

主治 肝陽上亢・肝風内動の頭痛、めまい、ふらつき、顔紅目赤、いらいら、易怒、不眠、多夢、のぼせ、ほてり、筋肉の引きつけ、痙攣、紅絳舌、弦数脈など

天麻・釣藤鈎・石決明→平肝熄風

山梔子・黄芩→清肝瀉火

杜仲・桑寄生・牛膝→滋補肝腎

夜交藤・茯神→安神寧心

益母草・(牛膝)→活血利水

釣藤散**組成** 釣藤鈎・陳皮・半夏・茯苓・麦門冬・人參・菊花・防風・石膏・甘草・生姜**効能** 平肝熄風・清熱化痰・益氣健脾**主治** 肝陽化風・脾虛痰濁による風痰上擾の頭痛、頭重、めまい、のぼせ、顔紅目赤、苛立ち、不眠、食欲不振、悪心嘔吐、喀痰、紅舌膩苔、脈弦滑など

釣藤鈎 → 熄風止癩・清熱平肝

菊花・防風 → 平肝熄風

石膏 → 清熱降氣・利水

陳皮・半夏・茯苓・甘草・生姜 → 燥濕化痰・理氣和中

人參 → 益氣健脾

麦門冬 → 清心除煩安神

肝厥頭暈を治し、頭目を清す 『普濟本事方』**杞菊地黄丸****組成** 六味地黄丸＋枸杞子・菊花**効能** 滋補肝腎・平肝明目**主治** 肝腎陰虚によるめまい、ふらつき、耳鳴り、足腰が弱い、足元がおぼつかないのぼせ、ほてり、かすみめ、目の疲れなど

熟地黄・山茱萸・山薬 → 滋腎補肝健脾

沢瀉・牡丹皮・茯苓 → 瀉腎涼肝利湿

枸杞子 → 滋補肝腎・養血明目

菊花 → 平肝明目

七物降下湯**組成** 当帰・川芎・芍薬・地黄・釣藤鈎・黄柏・黄耆**効能** 滋陰養血・平肝熄風**主治** 血虚生風によるめまい、ふらつき、筋肉のひきつり、疲れ、淡舌など

当帰・川芎・芍薬・地黄→滋陰養血柔肝

釣藤鈎 →平肝熄風

黄柏 →清(虚)熱

黄耆 →益気生血

竜胆瀉肝湯 竜胆草・黄芩・山梔子・柴胡・沢瀉・車前子・木通・生地黄・当帰・甘草。**効能** 清肝瀉火・清熱利湿**主治** 肝胆実火・下焦湿熱**黄連解毒湯** 黄連・黄芩・黄柏・山梔子**効能** 瀉火解毒**主治** 熱毒壅盛三焦**三黄瀉心湯** 黄連・黄芩・大黄**効能** 清心瀉火・解毒涼血**主治** 心火・血熱・三焦熱毒・湿熱内鬱**加味逍遙散** 柴胡・薄荷・白芍・当帰・白朮・茯苓・甘草・生姜・牡丹皮・山梔子**効能** 疏肝理気・清熱涼血**主治** 肝鬱化火

2. 脾虚痰湿

症状 血圧が高いか不安定、めまい、頭重、吐き気、嘔吐、肥満体、体脂肪率や脂質異常症があり、体が重い、むくみやすい、胃が重苦しい、軟便下痢しやすい、頻尿、夜間頻尿、白膩苔か黄膩苔、細滑脈。

治則 健脾助運・化痰燥湿

処方 釣藤散・半夏白朮天麻湯・竹茹温胆湯など

釣藤散

組成 釣藤鈎・陳皮・半夏・茯苓・麦門冬・人参・菊花・防風・石膏・甘草・生姜

効能 平肝熄風・清熱化痰・益氣健脾

主治 肝陽化風・脾虚痰濁による風痰上擾の頭痛、頭重、めまい、のぼせ、顔紅目赤、苛立ち、不眠、食欲不振、悪心嘔吐、喀痰、紅舌膩苔、脈弦滑など

釣藤鈎 → 熄風止瘧・清熱平肝

菊花・防風 → 平肝熄風

石膏 → 清熱降氣・利水

陳皮・半夏・茯苓・甘草・生姜 → 燥湿化痰・理氣和中

人参 → 益氣健脾

麦門冬 → 清心除煩安神

肝厥頭暈を治し、頭目を清す 『普濟本事方』

半夏白朮天麻湯 半夏・天麻・茯苓・陳皮・白朮・甘草・生姜・大棗

効能 燥湿化痰・平肝熄風

主治 風痰上擾による眩暈、頭痛、胸悶、悪心、白膩苔、弦滑脈

半夏→燥湿化痰

天麻→化痰熄風止眩

白朮・茯苓・陳皮・生姜→燥湿化痰

大棗・甘草 →和中

竹茹温胆湯

組成 半夏・陳皮・茯苓・竹茹・枳実・甘草・生姜・黄連・柴胡・桔梗・人参・
麦門冬・香附子

効能 理気化痰・清胆和胃・清熱除煩

主治 少陽病の胆胃不和・痰熱内擾。煩躁多痰、不眠、多夢、疲労、微熱など

半夏・陳皮・茯苓・甘草・生姜→燥湿化痰・理気和中

竹茹・枳実 →清熱化痰理気

黄連 →清心除煩

柴胡・香附子→疏肝理気

桔梗 → 理気化痰

人参・麦門冬・大棗 → 健脾益気

(黄連温胆湯と小柴胡湯の加減)

3. 瘀血阻滯

症状 血圧が高い、慢性的な頭痛、首肩凝りがひどい、顔と唇色が黒っぽい、めまい、動悸、慢性関節痛、下肢静脈瘤、便が黒い、痔の出血、紫暗舌、瘀斑点、舌下静脈異常、洪脈、不整脈。

治則 理気活血・化瘀通絡

処方 冠心Ⅱ号方の加減・血府逐瘀湯・桃核承気湯・桂枝茯苓丸
田七など。

肝鬱気滯＋逍遙散・加味逍遙散

冠心Ⅱ号方加減方

組成 丹参・川芎・赤芍・紅花・香附子・木香

効能 活血化瘀・理気止痛

主治 気滯血瘀の頭痛、胸痛、胸苦しい、動悸、肩凝り、高血圧、動脈硬化、紫暗舌瘀点瘀斑、舌下静脈怒張、不整脈

丹参 →活血化瘀・涼血安神・養血

赤芍 →活血止痛・利尿

紅花 →活血化瘀・調經

川芎 →活血化瘀・去風止痛

木香 →理気調中止痛

香附子→理気調經止痛

血府逐瘀湯**組成** 桃紅四物湯＋牛膝・柴胡・枳殼・桔梗・甘草**効能** 活血逐瘀・理氣止痛**主治** 血瘀証による各部位の刺痛、癥塊、顔唇色紫、頭痛、慢性肩こり、下肢静脈拡張、舌暗瘀点瘀斑、舌下静脈怒張、脉澀

桃紅四物湯 → 活血化瘀・止痛調經

柴胡・枳殼・甘草 → 疏肝理氣・解鬱調經

牛膝 → 活血祛瘀・引血下行

桔梗 → 開胸宣肺・引氣上行

処方には氣血の巡りをよくするため、四組対薬ある

①桔梗↑牛膝↓、②柴胡↑牛膝↓

③柴胡↑枳殼↓、④桔梗↑枳殼↓(枳桔散)

桃核承気湯 桃仁・桂皮・大黃・芒硝・甘草。**効能** 破血下瘀**主治** 下焦蓄血、肩凝り、頭痛、便秘など**桂枝茯苓丸** 桂枝・茯苓・牡丹皮・赤芍・桃仁。**効能** 活血化瘀・消癥除積**主治** 瘀血による腹部の癥塊、月経痛、月経不順、肩凝り、頭痛、下肢静脈拡張など**田七(三七人參)****効能** 化瘀止血・消腫止痛**主治** 各種の出血、打撲外傷

【症例検討】

拙著『証』の診方・治し方』1 CASE14より

患者 女性, 61歳, 主婦**治療日** 2009年1月9日**現病歴** 6年前, デパートで買物をしているときに突然に倒れた。精査では異常はみつからなかったが, 風呂場でめまいとふらつきが起きたため, 漢方治療を受けた。補中益気湯・桂枝茯苓丸・田七末・丹参末などの服用により, めまいはなくなり, 体調もよくなっていった。その後, 体質改善のため, 漢方薬の量を減らしながら少しずつ服用していた。去年11月初め頃, 朝から頭がボーッとし, 後頭部に重い感じがしたので, 血圧を測ったところ170/86mmHgであった。その後, 毎日血圧を測定していたが, 両腕とも164~167/84mmHgであったので, 不安を感じて来院した。**望診** 中肉中背。顔色は普通。両前腕内側の皮膚に紅紫色の血管が多く浮いている。下肢に静脈拡張がある。**問診** 頭がボーッとし, 後頭部のあたりに重い感じがある。肩こりがある。季節の変わり目にはふらつきがしやすい。やや疲れがあり, 不安がある。食欲と二便には特に異常はない。睡眠は正常。足の冷えが少しある。**舌診** 紅やや紫舌, 薄白潤苔。**脈診** 細弦脈**既往歴** 45歳、子宮内膜症と子宮筋腫のため子宮全摘術を受けた。血中コレステロールが高い。**家族歴** 母親は高血圧症。

• 症状分析

- 弁証
- 治則
- おすすめ処方

高血圧の生活面の注意点

1. 暴飲暴食や大酒・塩分の取りすぎを避け、タバコを止める
2. 脂っぽいもの・甘いもの・動物の内臓・刺激の強いものを控え、体重をコントロールする。
3. 過労・遅寝・徹夜を避け、リズム正しい生活習慣を守る
4. 気持ちを穏やかに保ち、ストレスを溜めないようにうまく発散する
5. 日頃から適度な運動を行う



最後

厚労省の発表によれば、高血圧は、喫煙と並んで日本人の生活習慣病による死亡の最大の要因であり、もし高血圧が完全に予防できれば、年間10万人以上の方が死亡せずにすむと推計される。

日頃から漢方療法や食養生を実行し、血圧を上手にコントロールして、高血圧、また、高血圧にもたらした動脈硬化や脳卒中、心疾患などの疾患を予防していこう！

ご清聴ありがとうございました！